

「Pスタディ」では大学入学共通テスト「情報 I」に向けて、履修学年時から演習ができる**共通テスト対策問題**を新たに追加いたします。

問題数	20問 (問題数は変更になる可能性がございます。問題は随時追加して参ります)
出題範囲	情報社会の問題解決:2問 / コミュニケーションと情報デザイン:5問 コンピュータとプログラミング:5問 / 情報通信ネットワークとデータの活用:8問
問題形式	Pスタディ上で取り組むCBT形式(自動採点)
難易度	高1や高2といった履修学年で取り組むことを想定し、共通テストよりは易しめ(右図参照)の設計です。共通テストの類似問題だけではなく、必要な知識を確認するような問題も含まれます。
解説	文章での解説に加え、初回リリースの20問には全問題に講師による動画解説がつき、自学自習でも取り組みます。

<問題難易度 イメージ>

難度
高

共通テスト
模擬試験

Pスタディ
共通テスト対策教材

難度
低

教科書章末問題
Pスタディ確認問題

追加料金はありません。

これまで通り990円※でご提供いたします。

※年度内・生徒1人あたり

プログラミング 問題イメージ

Hさんはその日の運勢を占うプログラムを作ろうとしている。ランダムで整数を出現させ、その数に応じて占いの結果が表示されるプログラムを構想した。

試しに占いの結果を「大吉」「吉」の2種類で設定しプログラムを作ってみることにした。

0~9の整数をランダムに出現させ、それぞれの結果が出る割合が「大吉」:「吉」=1:1となるように、出現した整数が0~4の場合は「大吉」、5~9の場合は「吉」とする。このとき(A)に入れるのに最も適当なものを選びなさい。

(1) hanteiに0~9のうち1つの整数をランダムに代入する

(2) もし(A) ならば:

(3) | 表示する("大吉")

(4) そうでなければ:

(5) - 表示する("吉")

また、出現した数が偶数の場合は「大吉」、奇数の場合は「吉」となるようにする方法も考えた。プログラムでは例えば次の表1のような演算が利用できる場合、(A)を(イ)

とすることで、「大吉」と「吉」の結果が1:1となる。

表1

* | 掛け算



全問動画解説付き

Pスタディの共通テスト対策問題では、周辺知識まで含む動画解説で、1問1問への丁寧な指導ができます。